



発行 2023年3月1日
横浜隼人中学・高等学校
後援会 事務局

ごあいさつ



後援会会長 佐藤 英一

皆さんこんにちは、横浜隼人中学・高等学校後援会会長の佐藤です。
新型コロナウイルス感染症対応の中、生徒の皆さんや先生方の充実した学園生活が送れるよう大変努力されている姿に、心から感動しています。
その結果、女子野球部はじめ中学野球部、中学高校女子卓球部、女子バレーボール部など各部が、素晴らしい実績成果を残してくれていることを本当に誇りに思っています。

これからも部活動はじめ、楽しい学園生活を過ごしていただくよう、後援会も全力で応援していきます。



学校長 吉野 純三

日頃より横浜隼人を応援、支援して頂き、大変ありがとうございます。
さて、新型コロナウイルス感染症による行動制限の始まりから3年が経ちますが、3年前の日常に戻りつつあります。生徒たちは、沢山の活動制限という長い厳しい冬の時期を、工夫を凝らし各自の力を磨いてきました。だからこそ、寒さほどける春の到来は嬉しいものです。開校45年の隼人の歴史の中で過去最高の全国大会・関東大会出場や全国優勝等の結果を出しています。コロナを乗り越え、伝統を繋ぐハヤブサに一層の応援、ご支援をお願いいたします。

女子野球部

顧問：田村・藤谷・菅井・只木

平日は校内、休日は主に遠征し活動しています。女子が野球のできる環境も徐々に整い始め、現在、部員が49名になりました。

昨年は関東ヴィーナスリーグで初優勝、U16(1年生大会)でも優勝しました。また夏の選手権大会では甲子園球場で行われた決勝戦で初の全国制覇を勝ち取りました。

部員も増え、着実に力をつけています。生徒たちは3月に行われる選抜大会で優勝し、「春夏連覇」を目標に掲げています。校訓である「必要で信頼される人」になれるよう、野球が大好きな仲間たちと切磋琢磨しながら日々練習に励んでいます。選抜大会の決勝戦は東京ドームで開催されるなど、認知度も上がり始めています。

皆さんから応援されるチームとなり、東京ドームにたくさんの方々に足を運んでもらえるようがんばります。今後も応援よろしくお願いたします。



【大会実績】
第26回全国高等学校女子野球権式野球選手権大会優勝(8月)
関東女子硬式野球ヴィーナスリーグ 優勝(6月)
U16チャレンジャーズトーナメント 優勝(11月)

高校女子卓球部

顧問：岸・大越・中間・護原

中・高一緒に活動しています。選手一人ひとりが主役であり、「部活動による心身の成長」と「日本一」を目標に「全員卓球」の精神で毎日練習に励んでいます。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策と練習を両立しつつ、4大会(5年)ぶりに関東大会連続出場記録を更新しました。4大会(5年)ぶりに関東大会3冠を達成(団体優勝は3大会ぶり)、インターハイでは接戦の末に敗れましたが、団体ベスト16に入ることができました。昨年12月には高3引退後の新チームで臨んだ関東選抜大会にて4年ぶりに優勝し、全国選抜に16大会連続で出場することになりました。後援会、保護者の皆様をはじめ、支えてくださる多くの方々への感謝と、皆様からの声援を「成長する力」に変えて今後も精進して参ります。今後ともご声援のほどよろしくお願致します。



【大会実績】
関東高等学校卓球大会 優勝(団体・シングルス・ダブルス)
全国高等学校総合体育大会 ベスト16(団体)
WTTユースコンベンション(国際大会)U-15 準優勝(シングルス)
関東高等学校選抜卓球大会 優勝(団体)

女子バレーボール部

顧問：佐藤喜・妻沼・谷口・濱上

いつも応援ありがとうございます。現在部員35名と多い中、「全員バレー」をモットーに活動しています。今年度は「頂～なんでも一番～」を目標に、全国大会出場のため、日々練習を積み重ねました。結果、初の県優勝を成し遂げ、「インターハイ」「春の高校バレー」と2つの全国大会に出場することができました。徳島県で行われたインターハイでは、予選リーグを通過し、ベスト32となりました。そのほかに、関東大会へは3年連続16回目となりました。全国私学大会では県優勝をし、ビーチバレーでは国民体育大会・神奈川県予選におさまって、2年小宮瑛那・政春佳央ペアが準優勝となり、関東大会出場を果たしました。このように、多くの成果を残すことが出来た1年となりました。今後も応援よろしくお願いたしました。

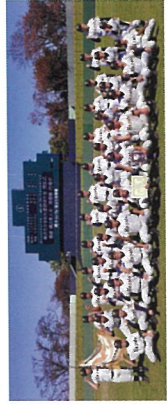
【大会実績】
2022年6月 関東大会出場
2022年6月 インターハイ県予選 優勝
2022年7月 インターハイ初出場
2回戦進出
2022年11月 春の高校バレー県予選 準優勝、県代表決定
2022年12月 全国私学バレー選手権大会 県予選 優勝
2023年1月 春の高校バレー全国大会出場



中学野球部

顧問：佐野・東城・本山

令和4年度は、150校以上が出場する横浜市の大会で春、総体、夏、秋の4冠という横浜市中体連史上初の記録を達成し、創部初の全国大会出場も達成することができました。このような結果を残せたのは、歴代の先輩たちが少しずつ丘統を築き上げてきてくれたお蔭だと思っています。これからも卒業生や後援会の皆様をはじめ、支えてくださる人々への感謝を忘れずに、また良いご報告ができるようにチーム一丸、前進していきます。



- 【大会実績】
- 横浜市中学校春季野球大会 優勝(出場150校以上)
 - 神奈川県中学校春季野球大会 優勝(加賀402校)
 - 横浜市中学校総合体育大会野球の部 優勝(出場150校以上)
 - 第39回全日本少年軟式野球球大会 出場
 - 横浜市中学校夏季野球大会 優勝(出場150校以上)
 - 横浜市中学校秋季野球大会 優勝(出場150校以上)

和太鼓部

顧問：坂本・鈴木蒔・村上

依頼演奏や、大会出場が主な活動です。中学生も在籍しており、高校生と同じ舞台上に立つ機会も多くあります。今年度は、7月に11回目の定期演奏会を開催、8月には関東大会に出場しました。そして、12月の大会で教育長賞を受賞し、全国大会に出場することが決定しました。今回が初出場です。

多くの方のご支援で活動が成り立っています。本当にありがとうございます。機会がありましたら、和太鼓部の演奏を聞いてみてください。



- 【大会実績】
- 8月 第22回神奈川県高等学校和太鼓選手権 優秀賞
 - 第12回関東地区高等学校和太鼓選手権 銅賞
 - 12月 令和4年度神奈川県高等学校総合文化祭
 - 第33回高等学校郷土芸能発表大会 1位(教育長賞)
 - (第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会 出場決定)

美術部

顧問：藤野・塩谷・森瀬

美術部は高校2年生10名、1年生14名、中学生9名で活動しています。高校美術展や神奈川県展などコンクールに向けて制作していますが、瀬谷区美術展など、地域の皆さんと一緒に作る展覧会にも積極的に参加しています。特に昨年初めて実施された「相鉄線沿線スクールフェスティバル」では多くの方々に作品を見ていただくことができました。

各自が独自のテーマを持ち、日々制作に励んだ作品は事務局様や4階美術室前の廊下に展示しています。こだわりの作品をぜひご覧になって下さい。

- 【大会実績】
- 第23回高校生国際美術展 奨励賞6名 佳作2名 学校奨励賞を受賞
 - 第27回安全振興会ポスターコンクール 最優秀賞1名 優秀賞3名 佳作6名
 - 第67回全日本学生美術展 特選1名 推奨1名 佳作3名
 - 第54回神奈川県美術展 神山財団賞1名 美術奨励賞記念賞1名 有隣堂賞1名 入選4名 中学生特別企画展 高文連会長賞1名 奨励賞7名
 - 第69回神奈川県高等学校美術展 高文連会長賞1名 奨励賞7名
- 全国高等学校総合文化祭鹿児島大会へ神奈川県代表2名が選抜される(平成10年～令和5年まで25年連続出場)

中学女子卓球部

顧問：岸・大越・中間・藤原

高校生と一緒に活動しています。部活動を通して心身の成長と、豊かな個性と人間性の達成を目的として、文武両道を目指しています。

夏の全国大会では、団体の部にて同大会優勝校に予選リーグで敗退してしまいましたが、個人ではベスト16に入る活躍がありました。

後援会の皆様をはじめ、支えてくださる多くの方々への感謝の気持ちを胸に、3月の全国選抜大会に向けて練習に励んでおります。今後ともご声援をお願いいたします。



- 【大会実績】
- 関東中学校卓球大会 準優勝(個人)
 - 全国中学校卓球大会 ベスト16(個人)

新体操同好会

顧問：横尾・永尾・安東

今年度で6年目の同好会です。2年目の代から関東大会や全国選抜大会に出場できるようになり、今年度は県大会で優勝3回、3年連続全国選抜大会に出場、2年連続インターハイ出場、神奈川県選抜チームとして本校から4名が団体にも出場しました。現在は4名メンバーがあり、3月には高1・工藤真妃が静岡で開催される全国選抜大会に個人でも出場します。また、来年度もインターハイを目指します。今後ともご声援の程よろしくお願いたします。

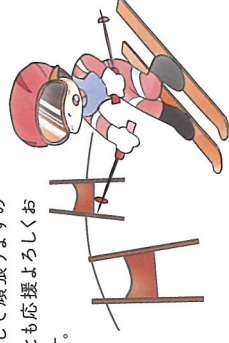
【大会実績】

- 2022年5月 第71回関東高等学校新体操選手権大会 団体5位入賞(田中、長久、藤原、荒井、清水、浦次、松島) 個人6位入賞(工藤)
- 2022年8月 2022年度全国高等学校総合体育大会 団体及び個人で出場
- 2022年9月 第77回国民体育大会 神奈川県選抜チームのメンバーとして田中、蒔井、藤原、工藤が出場 チーム総合13位

スキー

顧問：香取

アルペンスキーの1年清水悠仰は、令和5年1月4日～7日に志賀高原高天ヶ原マンモススキー場で行われた県大会において、大回転・回転で関東大会へ、回転で全国大会出場を決めました。アルペンスキーは、雪の斜面に立てられた旗門に沿って滑り降りてタイムを競うスポーツです。特に回転は、1秒を争いテクニクを非常に要求される種目です。更なる高みを目指して頑張りますので、今後とも応援よろしくお願いたします。



- 【大会実績】
- 神奈川県高等学校スキー大会 女子大回転 9位
 - 女子回転 6位

水泳部

顧問：川島・丹羽・増子・松本

飛込選手の3年塚田百穂美は、1年生の時に新型コロナウイルス感染症対策のため全国大会などの大会が中止になった学年です。その後も練習時間の制限や場所の確保が難しいなどの厳しい環境でしたが、諦めずに努力を続けて大会の出場権を獲得し、結果も残すことができました。今後も2秒間の華麗な舞に磨きをかけ、さらなる高みを目指して飛込競技を続ける予定です。応援をよろしくお願いたします。



- 【大会実績】
- 飛込
 - 7月 関東大会 3m飛込飛込8位、女子総合6位
 - 8月 日本選手権 3m飛込飛込と1m飛込飛込出場、シンクロナイズド飛込飛込3位
 - 8月 全国大会 3m飛込飛込12位、シンクロナイズド飛込飛込4位
 - 9月 とちぎ国体 3m飛込飛込11位

日々、文化部や運動部で、心身や技術の向上に一生懸命努力している生徒を応援しましょう。
皆さんお一人お一人が会員です。